

函 農 企

令和4年(2022年)4月1日

経済建設常任委員会委員各位

農 林 水 産 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記資料を参考配付いたします。

記

生け簀耐久度調査海域の選定について

(農林水産部企画調整課)

生け簀耐久度調査海域の選定について

1 調査の概要

本市沿岸4地点（沖合：約1.5km）の水深30mで生け簀が沈降する15mの位置に潮流計を設置し、流向・流速および水温のデータを測定した。

(1) 4 地点 大森町地先，釜谷町地先，古武井町地先，銚子町地先

(2) 期間 約2ヶ月間（令和3年11月17日～令和4年1月25日）

2 調査の結果

(1) 潮流（※1ノット=時速1.852km）

[最大流速] 釜谷 2.38ノット > 大森 1.18ノット > 銚子 1.10ノット > 古武井 0.93ノット

[平均流速] 釜谷 1.05ノット > 銚子 0.30ノット > 大森 0.23ノット > 古武井 0.18ノット

(2) 水温

[海水温]（最高）釜谷18.0℃ > 大森 17.6℃ > 古武井 17.4℃ > 銚子 14.5℃

（最低）大森 9.6℃ > 古武井 5.7℃ > 釜谷 5.6℃ > 銚子 4.4℃

3 評価

(1) 潮流

- ・最大流速が2ノットを超えても浮沈式生け簀の設置は可能とされているが，設備投資が高く，コスト増につながる。
- ・他地域のサケマス養殖漁場の環境と比較すると，大森，古武井，銚子についてはほぼ同じ傾向にある。（※別添「流速比率」参照）

(2) 水温

- ・本市沿岸で海面養殖を行う予定の11月から7月上旬までの海水温は適温の範囲内である。（※日本水産資源保護協会などの資料：適水温域3℃～21℃）

(3) 海面の区画

- ・設置する海域の状況や将来の養殖漁場拡大について関係漁協からヒアリング

(4) 体制の構築

- ・養殖試験事業の受入体制や緊急時の対応等について関係漁協からヒアリング

4 海域の選定

評価の結果，「函館大森」を選定した。

5 令和4年度取り組み

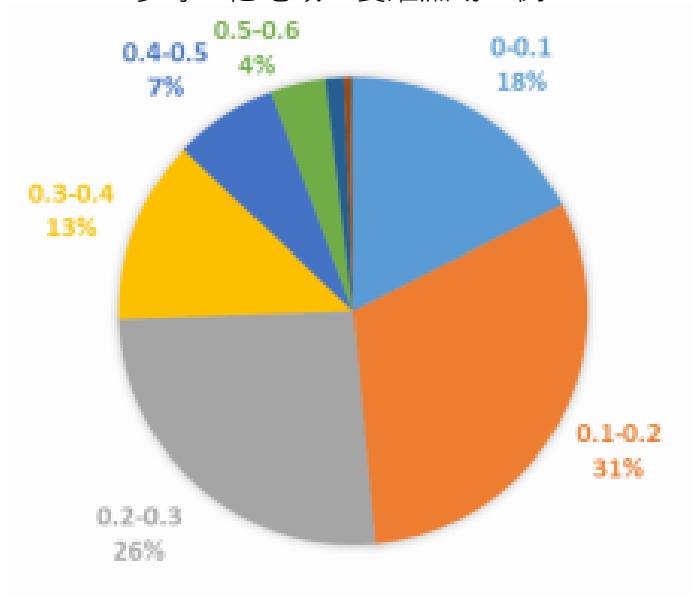
令和4年7月 浮沈式生け簀を設置

8月～ 耐久度調査を開始（施設管理：地先漁協へ委託予定）

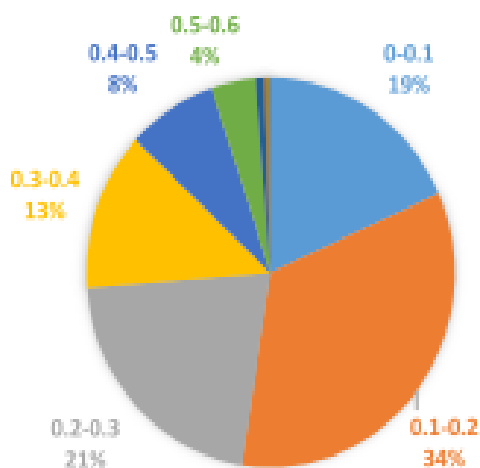
11月～ 耐久度を確認後，海面養殖試験を開始（サクラマス）

□流速比率（流速0.1ノット毎の比率データ）

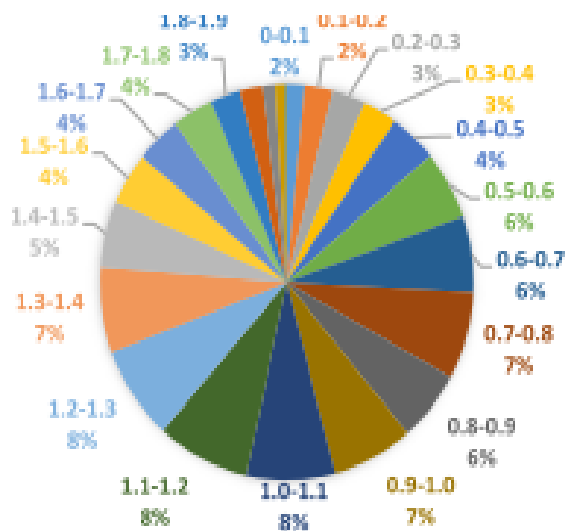
参考：他地域の養殖漁場の例



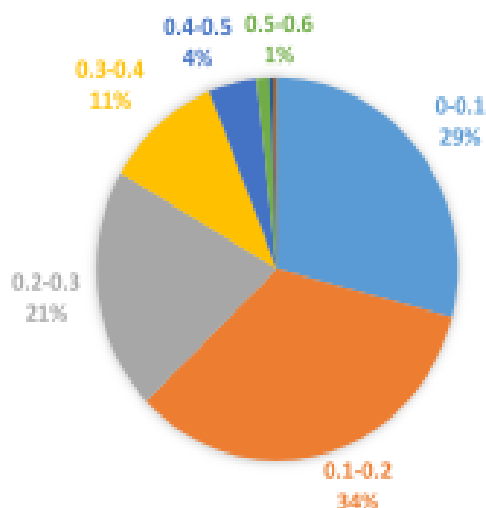
大森町地先



釜谷町地先



古武井町地先



銚子町地先

